



### 小平の歴史が書かれた絵札を紹介

郷土かるた裏面解説の一部を抜粋して紹介します。

**よ** 用水に 水車をしかけ 粉にひく

江戸時代中期ごろから、武蔵野の村々には水車がかけられた。小平では1764年ごろに最初の水車がかけられた記録があり、多くは麦をひくことに使われ、ほかに脱穀や糸よりなどにも使われていた。市内で水車は昭和23年ごろまで使われていた。



**た** 鷹の道 尾張の殿様 お鷹狩り

飼いならした鷹を訓練して鳥や獣を捕ることを鷹狩りと言い、一部の許された人しかできず、江戸時代は將軍や大名に限られていた。武蔵野あたりは、尾張藩の鷹狩りの場所で、殿様や鷹場役人の通る道とされていたのが鷹の道である。農民は、大きな音を立てない、鳥獣を取ってはいけないなどの制限で不自由な生活をしていた。

**こ** 小平の開拓助けた 玉川上水

江戸幕府は、増え続ける江戸の人々のために多摩川から水を引くことにした。羽村から四谷大木戸までの43.3km（落差約92m）に上水路を掘る大がかりな工事で、玉川兄弟は2度の失敗の後、測量技術の助けを借りて1654年ごろに開通させた。この上水からの分水で、武蔵野の新田開発はどんどん進んだ。



**る** 類のない 九道の辻は 交通の要所

府中街道の小平市と東村山市の境に九道の辻という交差点がある。ここは昔、鎌倉街道や江戸街道など9本の道が交差していた。ここに1本の桜があり、新田義貞が鎌倉へ攻め上る時、どの道が鎌倉へ続いているのか、道しるべとして植えたとい伝えがある。この交差点には、今も7本の道が残っている。



### 郷土かるたの絵札で巡るまち歩き

花小金井駅から中央図書館まで、青梅街道沿いの郷土かるたの札に描かれた場所を、まち巡りガイドが解説しながら歩きます。お正月の運動不足解消に歩きませんか。

**とき** 1月31日(日) 荒天中止  
**集合** 西武線花小金井駅南口、午前9時20分  
 ※解散は午後0時30分ごろ、中央図書館。  
**費用** 500円 **定員** 10人  
**申込み** 1月12日(火)の午前9時から、電話または電子メールで住所、氏名、電話番号、件名「郷土かるたでまち歩き」をくださいら観光まちづくり協会へ（先着順）  
 ☎042(312)3954、✉info@kodaira-tourism.com

鷹の道跡や青梅街道の伝馬跡など、ふだん歩いていても気づかないような景色を、解説を聞きながら歩いて、歴史や文化を学びませんか。

まち巡りガイド

### 絵札が伝える小平の風習

郷土かるたの絵札には、小平の風習が多く描かれています。その中から、小平郷土研究会の方に伺った小平の特徴を描いた札の一部を紹介します。

**ぬ** ぬまさらい 昔はのんだ村の用水

用水路にたまった泥やごみを取り除く沼さらいは、現在でも5月ごろに行われています。また、昔は用水路をかわ、雑木林をやまと呼ぶなど、独特の呼び方がありました。

**あ** 赤土の風から守る 屋敷森

昔は畑ばかりで土ぼこりがひどく、家の前にけやきなどを植えて防砂林にしています。青梅街道などの街道沿いにけやきが多いのは、その時代の名残です。

**く** くり棒 唄に合わせて 麦を打ち

麦は、小平の主要な農産物でした。脱穀機がなかった昭和20年代までは、麦打ち唄（棒打ち唄）に合わせてくり棒で麦をたたき、脱穀していました。現在、その唄は小平市棒打ち唄保存会によって伝えられています。

**む** 麦わらのたいまつ 回し 盆の入り

お盆の迎え火と送り火では、麦わらのたいまつに火をつけて回していました。昭和20年代までは、各家庭でこうした風習が残っていました。現在、小川寺で昔の風習を残すため、お盆のときに行われています。

### 郷土かるた地図

郷土かるたには、読み札に関連がある場所をまとめた地図も入っています。かるたで読んだ句を、実際に見に行くことも、楽しみ方の1つです。

## 郷土かるたが伝える 小平の歴史と文化

### 絵札に込めた思い

絵札を描いた小平美術会は、絵を描くことが好きな人が集まり、活動しています。絵札は、読み札の内容をさまざまな資料から調べ、その光景をイメージして描いています。数名の会員で手分けして描いたため、絵札それぞれに作者の特徴が出ています。

**る** 小平美術会初代会長で、日本画家として活動していた宮本弘康さんの作品です。絵札は日本画風で、歴史ものを多く描いています。ほかに描いた絵札、い、け、た、つ、て、ひ、ふ、へ、み、を、ん

**む** 大学で日本画を学び、現在小平美術会会長の井上秀城さんの作品です。風習を知っている人から聞き取りなどをし、温かい雰囲気の中で描いています。ほかに描いた絵札、え、こ、す、は、に、の

**せ** 彫刻家で、日本最大の公募展、日展の審査員もしていた木崎延幸さんの作品です。建物や木々の枝など細かい箇所を繊細に描いています。ほかに描いた絵札、か、く、さ、そ、な、は、よ、ら、り

小平美術会会長 井上秀城さん

小平市郷土かるたは、文化や歴史、自然、施設などを題材に、小平の特徴を伝えています。このかるたは、昭和57年に、郷土史研究の公民館活動をきっかけに自主講座から結成された、小平市郷土かるたをつくる会が活動の中心となって製作されました。郷土かるたが伝える、小平の歴史や文化を紹介します。

### 市民手作りのかるた

郷土かるたが作られた昭和50年代の小平は、さまざまな地域から引越して来る人が多く、故郷が小平ではない人が増えていました。また、都市化が進み、年々まちの姿が変わり、昔ながらの景色が少なくなり、昔の子どもたちにとつてのふるさとの記憶として、小平の歴史や文化を伝えていきたいという思いから、小平市郷土かるたをつくる会が中心となってかるたを作りました。

読み札の文は、市民からの公募を経て、集まった7百88句の中から選考し、つくる会が裏面の解説文とともに編集してあります。また、絵札は小平美術会が描き、すべて市民の手作りで完成しました。

読み札の裏面の解説文は、史跡などにまつわる歴史的な由来や説明を、要点をまとめて簡単な表現で書いています。絵札ともども興味を持った札の解説文をじっくり読んでみましょう。※現在販売している郷土かるたは、市制施行40周年の平成14年に複製版として作られたものです。解説文は、社会情勢の変化や新たな資料の発見により注釈をつけて追加・訂正しています。

### 小平市立図書館ホームページ

調べもの・レファレンスのページ 本の探し方を紹介しています。書名がわからない、どんな本を見て調べたらよいかわからないなどのときにご利用ください。また、パスファインダー（調べものの方法や、資料の探し方の手引き）のページでは、テーマごとの本の紹介をしています。

デジタルアーカイブ 郷土写真や定点撮影など昔の小平の写真や小平市史、写真資料、絵図などをデジタル化して公開しています。また、写真家の飯山達雄氏が昭和24年から31年までに撮影した小平市内の写真、約1,500枚もご覧いただけます。生活や農作業、風景など、当時の小平を知る貴重な資料です。

小平市立図書館所蔵 飯山達雄氏寄贈 昭和31年の青梅街道

### 小平市史

小平の昔の生活風土、伝承文化から気候や地形、地質や歴史・文化などを地理・考古・民俗編、近世編、近現代編の3巻に分けて掲載しています。また、3編に記載されている主要なテーマをおおむね集録し、一冊にまとめた入門書の、小平市史概要版・小平の歴史もあります。

小平市史は、市政資料コーナー（市役所1階）、図書館（分室を除く）、小平ふるさと村で販売しています。また、図書館（分室を除く）では閲覧・貸し出しもしています。

**価格** ▶小平市史（地理・考古・民俗編、近世編、近現代編）…各2,600円  
 ▶小平市史別冊 写真集…1,600円  
 ▶小平市史概要版 小平の歴史…600円  
**問合せ** 中央図書館☎042(345)1246

### 文化や歴史を調べる

### 小平ふるさと村 懐かしいおもちゃ展と郷土かるたに関する写真を展示

お正月に遊んだ、かるたやたこ、今でも買える懐かしい雰囲気のおもちゃを展示します。また、郷土かるたの札とかるたに関連する昭和20年～30年代の写真も展示します。

**とき** 1月31日(日)まで  
**ところ** 小平ふるさと村  
**問合せ** 小平ふるさと村☎042(345)8155

### 郷土かるたの展示

郷土かるた全種類の絵札と解説を展示します。また、郷土史を調べる書籍の一覧なども展示します。

**とき** 2月17日(水)まで  
**ところ** 中央図書館2階展示ギャラリー  
**問合せ** 中央図書館☎042(345)1246

### 郷土かるたの販売

市政資料コーナー（市役所1階）で小平市郷土かるた（複製版）を販売しています。

**価格** 900円  
**問合せ** 文化スポーツ課☎042(346)9501

### 郷土かるたの販売や展示